

方剂名	効能	生薬組成
書籍	主治および証	病機 方意
清熱剤 清熱解毒剤 2		
さいこせいかんとう 柴胡清肝湯	清熱解毒・祛風排膿・養血	当帰・白芍・熟地黄・川芎・柴胡・黄芩各 3g・黄連・黄柏・山梔子各 1.5g・連翹・桔梗・牛蒡子・天花粉各 2g・薄荷・甘草各 1g 水煎し服用する。
一貫堂	主治は、風熱毒邪が、肝胆三焦にびまんし、遷延して耗血を伴った状態である。 本方（柴胡清肝湯）は、清熱解毒、養血の温清飲に、祛風熱、解熱排膿の柴胡・牛蒡子・連翹・薄荷・桔梗・天花粉・甘草を加えたものであり、柴胡は肝胆経に引薬し、桔梗は利咽に働く。頭目、体表、咽喉などの熱毒（皮膚化膿症、中耳炎、咽喉炎、扁頭炎）が反復し遷延するときに適用する。 日本での保険適応効能、効果 かの強い傾向のある小児の次の諸症；神経症、慢性扁桃腺炎、湿疹	